

## 平成22年度 河川レンジャー年間活動計画(案)

平成22年2月

伏見管内河川レンジャー

坂本 清

中川 雄介

望月 斐加

桂川管内河川レンジャー

中村 桂子

田子 稔

柳沼 宣裕

山崎(京都府域)管内河川レンジャー

仁枝 洋

## 目 次

1. 伏見出張所管内河川レンジャー	坂本 清	1
2. 伏見出張所管内河川レンジャー	中川 雄介	8
3. 伏見出張所管内河川レンジャー	望月 斐加	16
4. 桂川出張所管内河川レンジャー	中村 桂子	22
5. 桂川出張所管内河川レンジャー	田子 稔	32
6. 桂川出張所管内河川レンジャー	柳沼 宣裕	40
7. 山崎(京都府域)出張所管内河川レンジャー	仁枝 洋	58

## 1. 伏見出張所管内河川レンジャー 坂本 清

### 1.1 活動テーマと活動分野

伏見出張所管内を活動エリアとする坂本レンジャーは以下の活動テーマのもと、1つの活動を実施します。

#### 活動テーマ

自然環境の保全と環境教育を支援することにより、宇治川の自然の大切さを知らせたい。

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川的环境保全を図る活動	宇治川自然観察会
	川の美化啓発活動(観察後の清掃)

## 1.2 宇治川自然観察会

### (1)活動目的

宇治川が昔より流域住民の生活にとって大事な役割を果たしてきたことは、いうまでもありません。しかし、現在その宇治川に関心を持つ人は多いとはいえません。宇治川の大事さを知ってもらうには、宇治川に対して関心を持ってもらわねばなりません。そして、そのことは宇治川の自然を守ることがとても大事なことだと気づいてほしいのです。そのためには、宇治川の自然のすばらしさを知ってもらう活動が重要だと考えます。

向島のヨシ原を、毎年数万羽のツバメがねぐらにしています。また、宇治川の支川の中には、カニや小魚が多くいるきれいな所もあります。そして、冬ともなれば、宇治橋下流にはカモなどの渡り鳥やサギなどの野鳥が数多く集まってきます。観察会をすることにより、宇治川の自然のすばらしさに気づき、今まで以上に宇治川に興味と関心を持ってもらえたらと思います。

### 平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月		実施計画の立案、観察場所の決定
	5月		広報活動、協力スタッフの依頼
	6月		資料の作成
	7月	31日(土)第1回観察会	下見、スタッフ打ち合わせ
	8月		資料の作成
	9月	11日(土)第2回観察会	下見、スタッフ打ち合わせ
	10月		
	11月		
	12月		下見、資料の作成
平成 23 年	1月		スタッフ打ち合わせ、下見
	2月	5日(土)第3回観察会	
	3月		反省会(1年間を振り返って)

(2)参加対象者・定員

参加対象者 対象区域内的の地域住民(小学生以下は保護者同伴)  
定員 50人～100人/回 第2回と第3回観察会は  
安全面から50人までと設定した。

(3)実施内容

第1回宇治川観察会 「ツバメのねぐら」観察会  
観察指導員 NPO法人シニア自然大学野鳥科  
ツバメの生態などの説明と観察指導  
協力スタッフ 京とおおみ自然文化クラブ  
観察の支援、自然工作の指導

プログラム

16:30 集合  
17:00 現地到着、河川レンジャー挨拶と観察指導員の紹介  
17:15 ツバメに関する説明や野鳥観察と自然工作  
18:30 ツバメの観察  
19:30 解散

第2回宇治川観察会 「水生生物・水辺の植物」観察会  
観察指導員 NPO法人シニア自然大学水生生物科  
採取した水生生物の同定やその説明  
協力スタッフ 京とおおみ自然文化クラブ  
植物観察の指導や自然工作の支援

プログラム

10:00 現地集合、河川レンジャー挨拶と観察指導員の紹介  
10:30 活動開始  
13:00 植物観察と自然工作  
14:30 現地解散

第3回宇治川監察会 「冬の野鳥」観察会  
 観察指導員 NPO 法人シニア大学野鳥科  
 野鳥の観察指導  
 協力スタッフ 京とおおみ自然文化クラブ  
 観察の支援や自然工作の指導

プログラム

10:00 集合  
 10:15 河川レンジャー挨拶と観察指導員の紹介  
 10:30 観察活動開始  
 11:30 河川の清掃活動  
 13:00 鳥あわせや説明  
 13:30 自然工作  
 14:30 解散

(4)実施日

第1回観察会 平成22年 7月31日(土) 雨天順延  
 第2回観察会 平成22年 9月11日(土) 雨天順延  
 第3回観察会 平成23年 2月5日(土)  
 少雨決行、順延はしない

(5)実施場所

第1回観察会 向島地区宇治川河川敷のヨシ原



第 2 回 観 察 会      宇 治 川 支 川 ( 笠 取 川 ) ・ ア ク ト パ ル 宇 治



第 3 回 観 察 会      宇 治 橋 下 流 ・ 宇 治 市 民 会 館



- \* 実施場所は、宇治川の中で最も観察対象物が多いこと。そして、安全であるため。
- \* アクトパル宇治と市民会館は観察場所に近く、トイレの問題や緊急時の対応が可能。

(6) 広報・募集方法

- ・ 宇治川近隣の学校への募集案内の配布依頼。
- ・ 京都新聞への募集案内の掲載
- ・ 地域の無料配布紙への募集案内の掲載
- ・ 淀川管内河川レンジャーホームページへの募集案内の掲載
- ・ 昨年度参加者、前回参加者等への参加依頼の手紙の配布

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ 観察指導員 NPO 法人シニア自然大学野鳥科 (2～5名)
- ・ 観察指導員 NPO 法人シニア自然大学水生生物科 (2～4名)
- ・ 協力スタッフ 京とおおみ自然文化クラブ会員 (10～20名)

(8) 必要支援内容

- ・ 募集案内用紙、資料などの印刷
- ・ 参加者の受け付け事務
- ・ スコープの借用
- ・ 河川レンジャーののぼりの借用
- ・ ブルーシートの借用
- ・ 清掃用具の借用
- ・ マイクロバスの借用と運転手の派遣
- ・ 配布用下敷きの提供

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案
- ・ 観察指導員・協力スタッフの手配、打ち合わせ
- ・ 会場の手配
- ・ 資料の作成
- ・ 広報活動
- ・ 当日の運営
- ・ 借用物の手配・借用・返却
- ・ 実施後のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 募集の方法を検討し、第一回目が多いと次回につながり参加してもらいやすい。
- ・ 2回目の観察会を9月に早め、水の中に入りやすくしたのは今年もつづけたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 工夫をしても、寒い時期の目標50人の参加者がなかなか集まらない。
- ・ 観察場所近くの学校や学童保育所などへの呼びかけを強めたい。

(12) その他

- ・ 昨年度は、宇治市役所の支援をいただいたが、今年もお願いしたい。

## 2. 伏見出張所管内河川レンジャー 中川 雄介

### 2.1 活動テーマと活動分野

伏見出張所管内を活動エリアとする中川雄介レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ

河川を通じた人づくり・地域ネットワークづくり

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川に関する啓発活動 人材育成 防災・救助・救難の推進を 図る活動	京都伏見ジュニア河川レンジャー (地域大学との連携)
地域ネットワークづくり	京都伏見ユース河川レンジャーの検討
他の河川レンジャーとの 連携	東高瀬川における望月レンジャーとの連携

## 2.2 京都伏見ジュニア河川レンジャー活動

### (1)活動目的

地域の財産でもある河川に対する理解

子どもたちが発信者となる河川を話題としたコミュニケーションづくり

地域内に向けた郷土愛づくり、人づくり、ネットワークづくり

継続した活動による地域内での河川に関する意識高揚

地域大学との連携(防災・救助・救難の推進)

### 平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	3 月	小学校募集案内 地域の大学京都教育大学との 打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22 年度地域大学との連携 内容検討</li> <li>・ 実施計画立案</li> <li>・ 募集案内、広報準備</li> </ul>
	4 月	小学校との打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施準備、舟手配等</li> <li>・ 学習 教材・内容の作成 開始</li> <li>・ 活動資料作成</li> <li>・ 各小学校募集案内</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	5 月	下旬より学習 の実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都教育大学との打合せ</li> <li>・ 協力スタッフ打合せ</li> </ul>
	6 月	学習 の実施期間	
	7 月	学習 の実施期間	
	8 月	学習 の実施期間	
	9 月	学習 の実施期間	
	10 月	学習 の実施期間	
	11 月	・ アンケート結果まとめ	
	12 月	・ アンケート結果まとめ	
平成 23 年	1 月	下旬より学習 の実施期間	
	2 月	学習 の実施期間	・ バッジ、認定証作成
	3 月	学習 の実施期間 認定書、バッジ配布	

(2)参加対象者・定員

・参加対象者:小学校4年生

(上記を基本とし参加を希望する小学校の要望に合わせる)

(3)実施内容

下記の学習 ~ を実施し、修了者に認定書とバッジを進呈します。

学習 十石舟乗船、河川観察・伏見みなと広場見学

学習 河川の生物観察・川のクリーンアップ

(学習 修了時にレポート提出)

学習 河川についての授業実施

新たに必要とされる内容を地域大学京都教育大学と連携し盛り込む

(4)実施日

・実施日については参加小学校と打合せの上決定

(5)実施場所

学習 濠川・宇治川派流、伏見みなと広場、宇治川

十石舟の運航コースであるとともに三栖閘門等の地域資産についてもふれることができ、河川沿いも安全で学習に適しているため



学習 参加小学校教室 小学校側が参加しやすいことを考慮

(6) 広報・募集方法

- 4月～9月の期間下記により広報、募集
- ・小学校へ出向き活動について説明、直接募集案内
- ・タウン誌「THE 伏見」にて参加募集、案内を掲載

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ: 学習 / 2名 (安全誘導・記録撮影)
- 学習 / 1名 (機材搬入・記録撮影)

(8) 必要支援内容

- 認定証、バッジ制作費支援
- 協力スタッフ 支援
- 学習 河川清掃ゴミ処理
- 河川レンジャーのぼり、ビブスの借用

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 企画 資料作成・検討 参加案内 参加確認 活動状況報告
- 関係機関との調整 地域大学との連携企画調整 参加校との打合せ
- 活動の実施 活動レポートの回収・集計 認定書・バッジ等作成

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- 21年度活動について各小学校先生からヒヤリングし改善点を導く

(11) 活動を行ううえでの課題等

- 小学校側の指導要領変更に伴い授業時間の短縮や参加が困難になる学校が出てくるかもしれません。その場合、参加しやすいように学校側と話し合いながらプログラムの変更を柔軟に行いたい。
- 他の河川レンジャーの方々と連携し活動を行い充実させたい。

(12) その他

- 今年度も引き続き地域大学京都教育大学と連携し既存の学習 ~ の内容充実や新規活動内容等を検討していきたい。

## 2.3 京都伏見ユース河川レンジャーの検討

### (1)活動目的

地域ネットワークづくり  
河川への意識高揚

### (1-A)活動イメージ

本年度

地元の各青年少年団体への声かけ 京都伏見ユース河川レンジャー検討  
メンバーの決定

活動内容等の検討会開催

次年度

試行活動の決定 試行活動準備 活動実施 今後の検討 活動の継続

### 平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	3月		
	4月	地元各青年少年団体への声かけ	
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月	検討参加メンバー決定	
	10月		
	11月	活動内容等の検討会開催	
	12月		
平成 23 年	1月		
	2月		
	3月		

### (2)参加対象者・定員

地元青少年各団体

(3)実施内容

地元青少年各団体への声かけ・活動の検討

(4)実施日

年間スケジュール参照

(5)実施場所

伏見総合庁舎市民交流スペース・伏見夢空間・伏見出張所会議室等を考えています。

(6)広報・募集方法

各団体へ出むき案内

(7)協カスタッフ等の人数とその役割

協カスタッフ:2名(資料作成等)

(8)必要支援内容

会場(伏見出張所)提供  
アドバイス

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 案内(声かけ)の実施  
関係機関との調整 検討会実施 会場設営 活動報告

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

(11)活動を行ううえでの課題等

(12)その他

## 2.4 東高瀬川における望月レンジャーとの連携

### (1)活動目的

地域ネットワークづくり  
河川レンジャー間の連携

### (1-A)活動イメージ

東高瀬川における望月レンジャーの行う活動に京都伏見ジュニア河川レンジャーの子どもたちメンバーがどのように連携できるかを検討し参加する。

### 平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	3 月		
	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月	望月レンジャー・関係機関 と話し合いの上決定	
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

### (2)参加対象者・定員

京都伏見の小学生

### (3)実施内容

望月レンジャー・関係機関と話し合いの上決定

### (4)実施日

望月レンジャー・関係機関と話し合いの上決定

- (5)実施場所  
東高瀬川
- (6)広報・募集方法  
各小学校へ出むき案内
- (7)協力スタッフ等の人数とその役割  
協力スタッフ:2名(資料作成・活動準備等)
- (8)必要支援内容  
アドバイス
- (9)活動における河川レンジャーの活動内容  
企画 資料作成・検討 案内の実施 関係機関との調整  
活動実施協力 活動報告
- (10)昨年度の活動を踏まえての改善点
- (11)活動を行ううえでの課題等
- (12)その他

### 3. 伏見出張所管内河川レンジャー 望月 斐加

#### 3.1 活動テーマと活動分野

伏見出張所管内を活動エリアとする望月レンジャーは以下の活動テーマのもと、2つの活動を実施します。

活動テーマ

川と人とまちをつなげる

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
日常的な河川管理活動	濠川クリーンアップキャンペーン
河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	東高瀬川菜の花プロジェクト

### 3.2 濠川クリーンアップキャンペーン

#### (1)活動目的

清掃活動を通じた、川への意識づくり

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画立案</li> <li>・ 募集案内、広報準備</li> <li>・ 資料作成</li> <li>・ 各団体案内</li> <li>・ 参加団体打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	5 月	クリーンアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力スタッフ打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画立案</li> <li>・ 募集案内、広報準備</li> <li>・ 資料作成</li> <li>・ 各団体案内</li> </ul>
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加団体打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	11 月	クリーンアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力スタッフ打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

#### (2)参加対象者・定員

参加対象者:伏見区内小学生・保護者、地元ボランティア団体

(3)実施内容

河川の清掃活動

(4)実施日

実施日は参加小学校 PTA と打ち合わせの上、決定

実施日は、春:5月、秋:11月の、参加しやすい気候の時期に合わせる。

(5)実施場所

伏見区濠川周辺



(6)広報・募集方法

伏見区内小学校 PTA へ活動について説明、直接募集案内  
伏見区内ボランティア団体へ直接募集案内

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ 約 2~3名(安全管理・機材搬入・記録撮影)

(8)必要支援内容

淀川河川事務所

- ・河川レンジャーのぼり、ピプスの借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成 参加案内 広報活動 参加校との打合せ  
協力スタッフ(関係機関など)との打ち合わせ 活動の実施  
活動の記録(写真撮影) 報告書作成 次年度への検討

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

活動を多くの方々へ知っていただくため、広報活動に努めたい  
参加者が未就学児から大人まで、と年齢層が幅広いので、きめ細やかな活動進行に注意したい

(11)活動を行ううえでの課題等

「川への意識づくり」は長期的に行なわなければならないので、活動を通して、河川への意識も引き続きもってもらえるようにしたい。

### 3.3 東高瀬川菜の花プロジェクト

#### (1)活動目的

- (ア)地域特有の河川資源を活かした、川への意識づくり
- (イ)活動参加者のみならず、活動による成果(東高瀬川の美化)で、地域内外・幅広い方々にまで、河川への意識を高める場の提供

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画立案</li> <li>・ 募集案内、広報準備</li> <li>・ 資料作成</li> <li>・ 各団体案内</li> <li>・ 参加団体打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	5 月	クリーンアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力スタッフ打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画立案</li> <li>・ 募集案内、広報準備</li> <li>・ 資料作成</li> <li>・ 各団体案内</li> </ul>
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加団体打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
	11 月	クリーンアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力スタッフ打ち合わせ</li> <li>・ 広報活動</li> </ul>
平成 23 年	12 月		
	1 月		
	2 月		
	3 月		

#### (2)参加対象者・定員

参加対象者:伏見区内住民・各種団体

(3)実施内容

河川の清掃活動 河川への美化への意見交換など、伏見区内住民・各種団体とのつながりをもつ活動を始めたい

(4)実施日

実施日は参加対象団体と交渉して決定

(5)実施場所

伏見区東高瀬川周辺

(6)広報・募集方法

伏見区内各種団体へ直接募集案内

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ 約 10 名(活動補助・安全管理・機材搬入・記録撮影)

(8)必要支援内容

淀川河川事務所  
・河川レンジャーのぼり、ビブスの借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成 参加案内 広報活動 参加校との打合せ  
協力スタッフ(関係機関など)との打合せ 活動の実施  
活動の記録(写真撮影) 報告書作成 次年度への検討

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

まずは、輪を築くために、住民・各種団体との連携を広げていきたい

(11)活動を行ううえでの課題等

河川行政と地域住民・各種団体とのコーディネートを図るためには、コツコツと長期的に行なわなければならない。そのために、きめ細やかな活動を心がける

(12)その他

多くの方々に各活動を知っていただけるよう、引き続き活動を続けていきたい

#### 4. 桂川出張所管内河川レンジャー 中村 桂子

##### 4.1 活動テーマと活動分野

桂川出張所管内を活動エリアとする中村レンジャーは以下のテーマのもとに、3つの活動を実施します。

###### 活動テーマ

子どもたちを中心に、市民や専門家等が連携を保ち、野鳥を取り巻く水辺環境を知ることによって生態系豊かな淀川流域の環境を守りたい。

##### 平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野		活動名
河川の環境保全を図る活動	河川の環境保全	自然観察会
	野鳥(生きもの)を通して地域と子どもたち(人)をつなぐ	ツバメ観察・学習会
		桂川講座

## 4.2 自然観察会

### (1)活動目的

10月、生物多様性条約会議(COP10)が愛知県で開催されようとしている  
 昨今、子どもたちを含む地域の人々が、自分たちの住んでいる水辺環境に  
 ついてどれほど知っているだろうか。

まず、どこよりも生態系が豊とされている身近な水辺環境について一緒  
 に学んで行きたい。野鳥を取り巻く環境に目を向けることによって、淀川  
 流域の素晴らしい環境に気がつき、目を見張ることと思う。

平成22年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月	打ち合わせ	学校と協議、計画の立案
	5月	自然観察会の実施	下見、資料作成
	6月	自然観察会の実施	下見、資料作成、スタッフ依頼
	7月		
	8月	振り返り授業	
	9月		
	10月		
	11月		
	12月	自然観察会の実施	資料作成、現地確認、スタッフ確保
平成 23 年	1月	自然観察会の実施	資料作成、スタッフ確保
	2月	自然観察会の実施	報告書作成
	3月	打ち合わせ	学校との引継及び打ち合わせ

(2)参加対象者・定員

参加対象者:近郊の小学校児童及び保護者、先生など

定員:100名以内

(3)実施内容

桂川自然観察会

桂川等、支流河川において野鳥を中心とした生きもの観察会の実施。  
各学校における活動の実現に向けては、校長先生や担任の先生の意向に左右されやすいので、具体的な内容まで持っていくのにはかなりの時間と調整が必要。

開催時間は、9:00頃～12:00頃までを予定。

これらのレンジャー活動の実施について教育委員会の理解と協力が必要であり、次第に府下の学校に広がるよう方向づけていきたい。

(4)実施日

桂川自然観察会            5月～6月、12月～2月で実施

(5)実施場所

桂川自然観察会

桂川:学校校区内の合流を重ね、最終的に桂川へ流入する河川  
嵐山(中の島公園)を中心に西京極界限まで

< 宇多野小学校校区内 三宝寺川 >



< 嵐山(中の島公園) ~ 松尾橋 >



(6) 広報・募集方法

必要に応じて新聞の行事覧に掲載  
テレビやラジオでも可能な限り PR  
日本野鳥の会京都支部の機関誌(そんぐぼすと)に掲載  
(全国都道府県の 98 支部に広報できる。)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

開催の数日前に参加人数を把握し、それに応じて必要人数の協力スタッフを手配  
観察会では、参加者 10 名に対して最低指導者 1 名が必要。

(8) 必要支援内容

観察道具(フィールドスコープ)は、協力スタッフ等の私物を借用している。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案 教育委員会との話し合い  
学校との交渉(先生との年間計画等の立案) 講師の交渉  
会場手配 資料作成 広報 当日運営 活動報告とりまとめ

(10) 活動を行ううえでの課題等

学校間の広がり及び継続実施。

### 4.3 ツバメ観察・学習会

#### (1)活動目的

現在、残されている大切な自然を決して失うことなく、将来に向けて受け継いでいくという認識の元、地域や学校(子供たち)が連携することによって今、私たちに何が出来るかを考えたい。

各自が身近な環境を知ることによって自ずと河川環境に対する認識も高まり、同時に河川整備に対する関心度も深まると思われる。レンジャーの役割は大きい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月	ツバメの継続観察 (校区内のツバメの育雛)	学校と協議、計画の立案
	5月	ツバメの継続観察 (校区内のツバメの育雛)	下見、講師スタッフ確保、 資料作成準備
	6月	ツバメの継続観察 (校区内のツバメの育雛)	下見、資料作成準備
	7月	ツバメの継続観察 (校区内のツバメの育雛)	下見
	8月	ツバメの渡りの調査体験学 習会とねぐら観察	資料作成、事前情報の収集 講師、スタッフの確認
	9月	インターネットによるツバ メの情報収集	条件が揃えば可能な限り行う
	10月	桂川講座(年間を通して人材 の確保)	資料作成、 講師・スタッフ依頼
	11月		
	12月		
平成 23 年	1月		
	2月	インターネットによるツバ メの情報収集	活動報告書作成
	3月	ツバメの初確認情報の収集	「ツバメ学習会」の次年度年間 計画の立案

(2)参加対象者・定員

ツバメの好きな親子、巣作りをしている地域の家、先生など

定員:ナシ

(3)実施内容

講師:須川 恒氏、他、関西在住の大学生数名

・右京区の複数の小学校ではツバメの調査を実施している。

学校区内でのツバメの継続観察(育雛)を行い、8月には繁殖を終えたツバメが集合する宇治川の源内にてバンディング調査の見学とねぐら入りの観察を行う。

自然の壮大な営みともいえる数万羽のツバメが一斉に東南アジア地域へ向かって飛び立ち、来春になれば再び私たちの町へ帰ってくるといふ野鳥の渡りについての学習を行う。

バンディング調査では渡りのルートを確かめることができる。

・8月の宇治川での観察は夕刻～日没まで。

・各学校における活動の実現に向けては、校長先生や担任の意向に左右されやすいので、具体的な内容まで持っていくのにはかなりの時間を要する。

これらのレンジャー活動の実施について教育委員会の理解と協力が必要であり、次第に府下の学校に広がるよう方向づけていきたい。

(4)実施日

ツバメ観察会

3月から翌年の8月

(5)実施場所

ツバメ観察会 宇多野小学校校区内及び宇治観月橋界隈の集団ねぐら

< 宇多野小学校校区内 >



< 宇治川・源内 >



#### 4.4 桂川講座

##### (1)活動目的

桂川と関わりを持ちながら生活している人々の歴史はふるく、何事も時代が変わったからといってそう簡単に変えられることではないと思う。自然観察をするにしても、生きものとの関わりを考えると、やはり昔から関わっている人々の声を聞かずに前に進むことはできない。

市民は無論、漁業従事者、農業従事者、生き物の専門家等々の話を聞き、桂川の流れを見守りながら交流を深めていきたい。そこから素晴らしい理解が生まれてくる筈。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	テーマ、会場、講師の段取り	会場確保
	5 月	〃	講師、スタッフの交渉
	6 月	〃	〃
	7 月	〃	〃
	8 月	資料準備、そんぐぼすと掲載	資料作成
	9 月	資料配布	
	10 月	「桂川講座」実施(予定)	当日資料、講師確認
	11 月	反省会(意見聴取)まとめ	
	12 月		
平成 23 年	1 月	次年度開催計画の立案	
	2 月	〃	活動報告書作成
	3 月	〃	

(2)参加対象者・定員

流域住民もしくは桂川に関係する団体ならびに個人。100名以内

(3)実施内容

テーマに基づいた話題提供者を数名予定する。

各方面の専門家、子どもを含む地域住民など、話題提供者の話を聞くことによって、お互いが自分たちの主張だけでなく、話し合いの機会を持つことによってお互いの立場、思いを理解し、少しでも歩み寄ることができるのではないだろうか。そのような機会になることを願いながらの開催。

(4)実施日

10月頃を予定

(5)実施場所

嵐山・松尾大社



(6)広報・募集方法

京都新聞の行事覧に掲載してもらい、テレビやラジオでも可能な限りPRするようにする。日本野鳥の会京都支部の機関誌(そんぐぼすと)に掲載(全国都道府県の99支部に広報)

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

開催の数日前に参加人数を把握し、それに応じて必要人数の協力スタッフを手配し、少しでも講座が円滑に進むように努めて貰う。

(8)必要支援内容

案内資料の印刷・配布にご協力頂きたい。(特に市町村関係)  
当日、必要に応じて資料を準備頂きたい。

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

講座実施計画の立案、講師依頼、スタッフの確保、会場確保、資料作成、広報、とりまとめ等。

(10)活動を行う上での課題等

桂川における情報をより収集し、一層話題を広げ、参加者を増やしていきたい。

## 5. 桂川出張所管内河川レンジャー 田子 稔

### 5.1 活動テーマと活動分野

桂川出張所管内を活動エリアとする田子 稔レンジャーは以下の活動テーマにもとづいて4つの活動を実施します。

#### 活動テーマ

桂川の自然の素晴らしさを知って貰い、合わせてゴミのない美しい川にして次の世代に残したい。

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	自然観察会
	小学校対象の観察会と出前講座
	桂川クリーン大作戦(桂川の清掃) クリーンキャラバン隊(桂川の清掃)
	川の美化啓発活動

## 5.2 河川の環境保全を図る活動

### (1)活動目的

桂川の自然は大都会を流れながら自然を残す貴重なところ  
です。四季それぞれに花が咲き、鳥が憩い、蝶やトンボ、秋の虫も  
多く、子供達の豊かな感性を育む大切な自然観察の場であり、  
市民の心を癒すオアシスでもあります。

私はそうした桂川の自然の素晴らしさを一人でも多くの人に  
知って貰いたいと思っています。

又、桂川流域の貴重な生物の生息場所が河川整備によって失  
われないように行政にも伝えていきたいと思っています。

あわせて桂川の美化活動を盛り上げていきたい。

過去3回の桂川クリーン大作戦で出来た、行政、地域住民、各  
種団体、学校、マスコミの連携を、たしかな形にして次のレン  
ジャーにバトンタッチしていきたいと思ひます。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	自然観察会(春を探そう) クリーン大作戦(案)作成	3 月広報準備、コース下見
	5 月	美化啓発活動(4 月～3 月) クリーンキャラバン隊 (6 月～12 月)	観察会まとめ
	6 月	クリーン大作戦準備(6 月～)	美化啓発活動の広報及び資料作成(4 月～3 月)
	7 月		観察会実施計画の立案 広報準備 現地下見
	8 月		クリーン大作戦広報準備
	9 月	自然観察会(秋を探そう)	前日現地下見、観察会まとめ
	10 月	小学校自然観察会及び美化啓 発活動(10 月～2 月)	小学校と打合せ 観察会実施計画の立案 広報準備 現地下見
	11 月	環境フェスティバル参加	
	12 月	自然観察会(冬鳥を探そう)	前日下見 観察会まとめ
平成 23 年	1 月		クリーン大作戦準備
	2 月	クリーン大作戦	現地下見、参加団体打合せ
	3 月		美化啓発活動のまとめ クリーン大作戦のまとめ

## (2)参加対象者・定員

### 観察会

参加対象者：参加自由(小学生以下は保護者同伴)

定員：特になし

### クリーン大作戦

参加対象者：行政、地域住民、各種団体、企業、学校、個人

### クリーンキャラバン隊

参加対象者：各種団体、地域住民

### 小学校観察会及び出前講座

参加対象者：学校と相談

## (3)実施内容

### 当日のプログラム

観察会：9:00 集合 河川レンジャー挨拶、コースの案内と注意

9:30 観察開始

12:00～13:00 昼食

13:00 アンケート提出、クイズ、鳥合わせ

13:00 河川レンジャー挨拶、美化の訴え

14:00 解散

### 小学校の観察会及び美化啓発活動

小学校と相談

### クリーン大作戦

9:00 現地集合

河川レンジャー挨拶、注意

9:30～11:15 清掃

11:15 用具返却

11:30 解散

### クリーンキャラバン隊

9:00 現地集合

11:00 清掃終了

11:00～12:00 用具返却及び解散

(4)実施日

観察会

春を探そう

4月～5月

秋を探そう

9月～10月

冬鳥を探そう

12月～1月

小学校の観察会及び美化啓発活動

小学校と相談

クリーン大作戦

2月第2週の日曜日

クリーンキャラバン隊

6月～12月

(5)実施場所

嵐山～久世橋 その時の状況の応じて決める

クリーン大作戦は桂川全域



(6) 広報・募集方法

実施場所の阪急電車の最寄り駅  
桂川流域の各区役所  
桂川利用者へ案内パンフレット配布  
協力団体への参加依頼及び機関誌への掲載  
地元新聞への掲載  
河川レンジャー ホームページに掲載  
今までの観察会参加者へパンフレット送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

同じ想いを持つスタッフを 10 人は確保したい  
運営補助、観察会指導、広報支援

(8) 必要支援内容

募集案内や資料の印刷  
必要用具の借用  
解散までの安全確保  
関係する役所への連絡

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案  
講師、スタッフの要請、打合せ  
案内パンフレット、資料の作成  
広報活動  
当日の運営  
アンケート作成とまとめ  
実施活動のまとめ  
活動の報告  
マスコミへ活動の取材依頼

## クリーン大作戦

出張所との実施内容の確認会議 2 回  
毎月 1 回の実行委員会、必要に応じた事務局会議の開催と資料作り  
各種団体との打合せ  
清掃区域の調整及びゴミ集積場の確認  
清掃用具の準備と配布方法の確認  
実施説明会の開催と資料作成  
清掃後の現地確認  
参加団体、人数のまとめ  
反省会の開催と資料作り

## (10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

### 観察会

子供の参加が少ない。その理由として

今まで川は怖い所として川から子供を遠ざけてきた

観察にいい季節は子供を対象にした行事が多い

などが考えられるが、今年度は家族単位で参加しやすい案内をしたり地域の団体と連携した観察会も持ちたい。

### 小学校の観察会及び美化啓発活動

昨年は新型インフルエンザの影響とクリーン大作戦の準備に時間が取られ十分な活動が出来なかったが、今年は流域の小学校へレンジャー活動と桂川の自然の素晴らしさと、その大切なことを伝えたい。

平日の活動になるのでスタッフを多く確保することが必要。

## クリーン大作戦

2月14日(日)実施 雨天の場合2月21日(日)に順延

流域は長く自然環境の相違、地域の方々の川との係わり、その思い入れもまちまちで今まで各種団体の清掃されて来た歴史、やり方なども違う。

そうした中、仁枝レンジャーと共に一斉清掃を呼びかけたところ、地域住民、各種団体、企業、桂川を愛する人々など多くの団体が賛同して参加表明して頂いた意義は大きいと思う。

昨年度(H21)の第3回は新たに自治連合会単位と高校の参加もあり、取り組み如何によっては更に大きな美化活動に発展する下地が出来た。

その第3回から、レンジャー主催から『桂川クリーン大作戦実行委員会』主催に改め、実行委員会へ充実したことが輪の広がりに大いに貢献したと思う。

ただ行政との折衝、各種団体との調整をスムーズに行う上で河川レンジャーの果すべき役割は大きく、レンジャーの任期、2期4年が今年で終わることを考えれば、早急に後継者を作り、育てていくことが望まれる。

案内パンフレットの原稿作りから実施に至るまで、ほぼ1年の準備と打合せが必要で、他の行事との時間調整が大変だったが、実行委員会の皆さんや当日のスタッフの献身的な奉仕精神で支えられた。

今回第4回は、これまで3回の(2月14日)実施を踏まえ、今後につなげたい。

### (11)活動を行ううえでの課題等

一般参加をどう増やしていくか。

参加者の目線にたった企画と広報に工夫が必要。

観察会敵地にトイレが無いことで行程に無理が出る。

川は怖い所との認識を改めてもらい、川に来て貰うことを通じて川について考えて貰いたい。

### (12)その他

## 6. 桂川出張所管内河川レンジャー 柳沼 宣裕

### 6.1 活動テーマと活動分野

桂川出張所管内を活動エリアとする柳沼レンジャーは以下の活動テーマのもと、5つの活動を実施します。

活動テーマ

まちの人にも川を伝えよう

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
防災・救援・救護の推進を図る活動	長岡京市防災訓練での河川レンジャーの普及ならびに水害防災ミニ講座の実施
防災・救援・救護の推進を図る活動	長岡京市環境フェスタでの防災展示の実施
レンジャー活動に関するニュースの発行	三川合流点通信の発行(かわみと連動) ( 実施に向けた検討 )
河川レンジャー活動内容の第11条(1)から(9)の項目	かわみ( 実施に向けた検討 )
防災・救援・救護の推進を図る活動	防災に関する地域講座の実施(かわみと連動) ( 実施に向けた検討 )

## 6.2 長岡京市総合防災訓練での河川レンジャーの普及ならびに水害防災ミニ講座の実施

### (1)活動目的

一般市民・行政関係者に対して河川レンジャー制度・活動内容の普及を行うとともに、水害防災ミニ講座による水害・防災への理解促進を図る。

平成22年度の総合防災訓練は防災訓練実施が市内10校区で一巡したこともあり、詳細は未定である。市内各域では現在水害対策がなされているものの、長期間大規模な豪雨が来襲していない事や、水害や冠水の頻度の低下により市民は水害に対する記憶が薄れ、水害対応力が弱体化しつつあるという課題もある。また、河川改修等実施後のマンション建設や住宅開発により、ここ数年の間に移り住んで来た市民も多く、水害について普及する必要性は高い。

平成22年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成22年	4月		実施計画の立案 関連機関との調整
	5月		関連機関との調整・合意
	6月		展示物等作製
	7月		展示物等作製、協力者等調整 行事広報用ちらし等作製
	8月		広報、協力者等調整
	9月	実施A案 市の日程により	展示準備・展示 反省会、礼・資料整理
	10月		資料整理、報告書類作成
	11月		
	12月		広報、協力者等調整
平成23年	1月	実施B案 市の日程により	展示準備・展示 反省会、礼・資料整理
	2月		資料整理、報告書類作成
	3月		

## (2)参加対象者・定員

一般市民 500 人程度、行政・議会関係者 80 人程度、防災関係団体等 100 人程度。

## (3)実施内容

市の行う防災訓練に参加・展示し、一般市民、地域団体等に対して河川レンジャーとその制度について普及するとともに、防災ミニ講座を行い、水害について理解を深める。

展示内容は河川レンジャーについての説明や活動の写真、ならびに当該地域での水害写真とその解説等である。

防災ミニ講座は、いわゆる防災大道芸とでも言うものである。路上や野外等で通行人や一般市民に対して防災を説明しなければならない場合、講座形式のように十分な時間をとることが出来ない。そのため、移動する対象に対しても興味を引くような、わかりやすく説明することが必要である。なお、柳沼レンジャーの防災の基本は「いかに日常生活の中に防災を織り込むか」であるため、台所用品や段ボール等の日常の生活用品を防災に活用できるような提案をする。

### 展示内容案

- ・レンジャー概要、活動の記録等
- ・河川の仕組み、当該地域の水害の記録等
- ・防災ミニ講座内容案
  1. 避難情報収集編
  2. 避難編
  3. ペットと避難編
  4. 何で堤防は壊れんの?!編
  5. 小畑川と三川合流点の不思議な関係?!編 等々

## (4)実施日

2010 年秋季または冬季

(市の日程により 具体的日程に関しては状況により決定)

## (5)実施場所

長岡京市市内 (場所・形態は今後の検討内容により)

(6) 広報・募集方法

防災訓練自体の広報は市報で行う。

河川レンジャー等の展示内容紹介・ミニ講座案内ちらし(大量に配布するものではなく、簡単な告知程度)は公共施設等で配布。

レンジャーHPも活用。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

河川レンジャー	2名程度
地域団体	2名程度

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・印刷 広報媒体、配布資料の印刷
- ・資料提供 展示資料等、大判地図(現在・過去)、展示等関連パネル(既存の流用も)
- ・機器・備品 事務用品、白板、白板用磁石、展示用フック  
レンジャーのぼり等
- ・その他 車両(バン等輸送用状況により)  
連絡通信費(切手等)

長岡京市

テント、土嚢、マンホールのふた等  
(打ち合わせより)

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・各行政機関・関連団体等調整
- ・資料作成
- ・スタッフ会議、
- ・展示パネル・小道具等作製
- ・配布資料作成
- ・準備、当日運営
- ・ミニ講座実施
- ・反省会
- ・事後対応(礼、行事報告書作成)

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

2006年度は「桂川・淀川スイボーズ」のメンバーとして出展し、防災ミニ講座を行った。

2009年度は市防災部局のみならずさまざまな部局に協力をいただいた。今後、展示内容や体制をより向上させ、市民等により理解してもらえる内容としたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

関連機関・関連団体・自治会等との事前調整。ただし、前回の参加実績があるため、比較的問題なく進行できるものと思われる。

さまざまな状況により日程の決定は今後であるが、市防災部局等からアドバイスをいただきながら、調整していきたい。また、レンジャーの展示や大道芸に関して、スペースはほとんど取らないため、展示場所、導線の設定等について調整し、来場者により伝達したい。

(12) その他

2010年度は各校区での訓練が終了した事もあり、行事形態の変更も考えられるが、今後主催者と打合せを行い、参加者層や実施場所の状況に合わせた展開方法を検討していきたい。

担当地区内の府、市町、区内において、防災行事の実施は活発であるが、参加に関しては今後の課題である。まちづくり行事や他の行事の折などでも防災大道芸を行うことがあるが、子どものみならず、大人も興味を持ってきているようである。

### 6.3 長岡京市環境フェスタでの防災教育展示

#### (1)活動目的

河川を考えるなかで重要な視点である「環境」に対し興味のある層に対して、旧乙訓地域で行われている水害防災授業についての展示を行い、環境分野に遠いようで近い、水害や防災について知ってもらう。

参加の主な対象が児童とその父兄のため、「身近な場所」を対象とした展示を行うことにより、より効果が高まる。

また、行事の主題である環境フェスタであるが、森林整備による河川流量の増加と河川の自然やゴミの問題は関連するため、それらの事と連動させ、気付いてもらう意味でも、効果は高い。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		計画・準備、調整
	5 月		計画・準備、調整
	6 月		準備、調整、スタッフ打合せ
	7 月		準備、調整
	8 月		展示内容準備、調整
	9 月		展示内容準備
	10 月		展示内容準備
	11 月	実施	展示内容準備、整理
	12 月		整理、反省会、報告
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

児童、父兄、環境や自然に興味がある人 主催者目標人員 800 人(2009 年度実績 800 名)

(3)実施内容

長岡京市(予定)、長岡京市環境の都づくり会議(予定)と連動しながら、同主催の「子ども環境フェスティバル」に出展し、防災教育の写真や映像の展示等を行う。

この行事は参加者の来場範囲(居住範囲)が長岡京市や周辺の区町村に限定しているため、展示地域の内容をある程度限定して行うことが可能である。そのため、知った場所や日常的に生活する場所が展示されるため、参加者の興味や理解が進みやすい。

(4)実施日

2010 年 11 月(月末の日曜日頃...長岡京市の日程により)

(5)実施場所

長岡京市中央公民館(予定・状況により変更あり)



(6) 広報・募集方法

主催者の行事チラシ、ホームページ、新聞開催案内、各校宛依頼文・チラシ送付等。

河川レンジャーホームページ、防災展示案内ちらし等。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

地域団体との協力を行う。また、当該区域と関連する他の河川レンジャー活動もあるため、今後関連する河川レンジャーとの打合せの上調整する。

長岡京市(予定)・・・・・・・・・・・・・・・・全体運営等

長岡京市環境の都づくり会議(予定)・・全体運営等

桂川・淀川スイボーズ・・・・・・・・水害防災教育展示・運営・解説

関係教育機関・・・・・・・・水害防災教育展示・運営・解説

周辺・関連地区河川レンジャー(案)

・・河川関係展示・運営・解説(今後打合せ)

(8) 必要支援内容

国土交通省 広報媒体の印刷等、配布資料の印刷

展示関係事務用品等、輸送用車両(バン等場合により)

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 展示内容の検討
- ・ 展示物の作成、展示、解説
- ・ 展示関係調整等

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

2009年度はレンジャーブースを初めて開設し、展示・実施した。

内容的にも参加層から考えてもレンジャー行事として参加する意義は高いと思われる。広報と作業体制構築が課題となる。

(11) 活動を行ううえでの課題等

事前調整の必要性、ならびに展示内容の検討等。

(12) その他

地域性のある河川普及のための配布物の作成等が課題として残る。

6.4 三川合流点通信(仮称)の発行(河川レンジャー通信京都府南部版 一般版)

( 実施に向けた検討・調整をおこない、適宜実施したい)

(1)活動目的

河川レンジャーの活動や河川についての概要を行事に参加している参加者のみではなく、  
 広く一般住民にも知ってもらうために通信を発行して普及する。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月	実施(発行)	取材・編集・印刷・送付・配布、企画
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月	実施(発行)	取材・編集・印刷・送付・配布

(2)参加対象者・定員

一般住民(公共施設等資料配布コーナーにて設置・配布)、行事参加者、  
関連区域の自治体ご担当、河川レンジャー 他

(3)実施内容

作業の流れ 企画、取材・記録、編集、印刷、送付

記事の構成内容(案)

- ・自分の活動(予定・報告)
- ・周辺河川レンジャーの活動紹介(予定・報告)
- ・川に関わる動き(京都府内外の動き、川に関わる団体の紹介等)
- ・コラム
- ・地域の概要の紹介(河川、自然、文化、民俗)

体裁 A4 版裏表カラー印刷

コピー印刷または簡易印刷(リソグラフ、ディプロ等)程度。  
状況により増ページを検討する。

(4)実施日

現時点では年2回程度発行を予定・検討していく。

(5)実施場所

記事の掲載における当該対象場所は、三川合流点付近・桂川流域河川、  
その他周辺河川。



(6) 広報・募集方法

通信の配布については、担当範囲に関しては直接配布を基本として、  
その他を郵送ならびに所内便とする。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

取材の上で適宜地元団体や機関、地区住民に協力をいただく。  
なお、謝礼に関しては予算の課題もあり、謝礼は無しとする。

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・ 印刷 編集時の印刷、通信の印刷
- ・ 資料等、関連資料ならびに資料等複写
- ・ 機器・備品 事務用品等
- ・ その他 連絡通信費・発送費(切手等)

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

企画、行事実施・取材、周辺レンジャー活動の取材、情報整理、編集、  
印刷、発送リストの作成・添付、封入、配布・送付、反応・意見の収集・分析

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

平成 21 年度は他の普及行事等に重点を置いたため、本年度はレイアウト書式の作成、資料収集と原稿案作成程度となった。ただし、非レンジャー行事である「近畿 子どもの水辺交流会 in 京都」において「川遊びの新聞」を作り配布した事もあり、今後のレンジャー展開の可能性も開けてきたと考えられる。

(11) 活動を行ううえでの課題等

他の行事等、レンジャー活動全体の仕事量配分が課題となる。

(12) その他

特になし。

## 6. 「かわみ」の実施

( 実施に向けた検討・調整をおこない、適宜実施したい)

### (1)活動目的

河川の状況や河川利用者・地域住民の状況を知り、問題点や課題を把握し、今後の対策に役立てる。また、堤防の状態や大型ゴミなどの課題については適宜関係機関に連絡し、状況により、協力して対策を検討する。

なお、「かわみ」という用語であるが、現在、河川管理者や河川担当職員・防災担当職員が河川の状況を把握する場合、「河川巡視」という用語を用い、地理学や歴史学の世界では川を含めた地域を調べ見学する場合、「巡見」という用語を使う。ところが、河川レンジャーの行う河川の見学には適切な用語が存在していないため、今回は便宜的に「かわみ」という言葉を使用する。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	5 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	6 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	7 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	8 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	9 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	10 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	11 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	12 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
平成 23 年	1 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	2 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用
	3 月	かわみ	適宜報告・通信、講演で活用

(2)参加対象者・定員

河川。該当河川流域住民ならびに河川利用者。

(3)実施内容

定期的に河川や河川周辺地域を自転車・原動機付き自転車または徒歩などのゆっくりした速度により、河川の様子を観察し、河川に関わる人々と関わり、現在の河川の持つ問題や課題を収集、分析し、今後の河川について検討する基礎的な情報とする。

なお、緊急性のある課題を発見した場合は出張所に口頭にて現地の確認を要請するか、写真等とともに書面で連絡する。

「かわみ」を行う場合の注意点

1. レンジャーが「河川の安全」に関する情報を出張所等へ連絡することは必要である。情報提供をする場合は河川や自然の形状等や明確な犯罪行為等のみとする。
2. しかし、地域情報(自治会・河川に関わる個人情報)はレンジャー個人の「人間関係や信用」等により収集した情報であり、組織として共有化するのには無理が生じる。地域情報を出張所に提供した場合、レンジャーは淀川河川事務所ならびに出張所の下部組織または組織の成員と認識され、住民との関係に課題が出る場合がある。

(4)実施日

適宜。報告等は今後の調整により。

#### (5)実施場所

桂川右岸、嵐山から三川合流点付近まで。ならびに右岸に関わる流域  
今年度の重点地区

桂川 桂大橋右岸下流部から、羽束師橋を経て、三川合流点まで。

なお、水系理解の関係で嵐山等の取水口まで行く場合もある

小畑川 源流部(亀岡市)から各市町を経て桂川合流点まで。

和井川・西羽束師川・五間掘・七間掘

長岡京市取水口ならびに始点から、各桂川合流点まで。

坂川 源流部から小畑川合流点まで。

犬川 源流部から小畑川合流点まで。

小泉川 源流部から大山崎町を経て桂川合流点まで。

上記の ~ 間での河川は支川も含む。その他の河川は今後の課題としておく。



#### (6)広報・募集方法

基本的に担当レンジャーが人と話し、情報を収集する形式のため、対象地区の住民に河川レンジャーの活動について理解してもらうために、名刺や資料等を用意し、常に配布できるようにしておく。また、レンジャー自身の主催行事との連動を図り、行事案内を配布するとともに、対岸や周辺のレンジャーの行事案内等も配布する。

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

特になし。ただし、状況により、他のレンジャーまたは他団体の方々等に同行を依頼する事も起こりえる。

(8)必要支援内容

国土交通省

- ・印刷 行事募集ちらし、配布資料、レンジャー紹介資料等
- ・その他 関連地図、文具等

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

流域の「かわみ」、流域住民・河川利用者との対話、報告書の作成(情報内容による)、

長期課題の発見、長期課題対策の企画化、提案(来期等)

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

かわみ実施に関しては「かわみがどのような成果を得たか」が重要となると考えられる。平成21年度の展開においてはかわみの実施により、人と会い、流域の水に関する「人・物・文化・情報」を蓄積・理解したことなどにより、問合せ・普及行事依頼が増加している。また、講演や普及行事の際に活用する写真や調査データにしても、他では入手できない生のものである。そのうえ、流域河川課題・情報の分野により、河川レンジャー以上に、詳しく流域の状況を把握している者がいない状況もあり、『かわみ』の必要性は非常に高くなっている。逆に言うと、かわみを行わないと、流域の水の流れを自然科学的に、社会的に把握できる人がいないという状況であるということである。

(11)活動を行ううえでの課題等

情報の取り扱い。(3)実施内容の項参照。

(12)その他

かわみの活動で得た情報を基に、河川や地域の持つ課題を発見し、活動に反映させていく必要がある。

「流域での河川理解」に関して、理解したくない人、理解できない人、考えたくない人がいるが、「いかに伝えるか」が課題であるとともに、その部分はレンジャーの課題より、より上位の課題であるとも考えられる。その場合、レンジャーの限界も検討しておく必要が考えられる。

## 6.5 防災に関する地域講座等の実施

( 実施に向けた検討・調整をおこない、適宜実施したい)

### (1)活動目的

地域のもつ河川に対する要望に答えるために普及行事を実施する。  
かわみ等の活動により、さまざまな地域の要望や課題が見出されている。  
それに答えるためにも、地域と調整しながらさまざまな普及行事に  
 ついて検討していきたい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		検討・地域調整
	5 月		検討・地域調整
	6 月		検討・調整
	7 月		検討・調整、資料作成
	8 月	実施(地域等の状況により変動)	検討・調整、資料作成
	9 月		整理、報告
	10 月		
	11 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

### (2)参加対象者・定員

対象者の層・行事により

### (3)実施内容

対象者の層・行事により

(4)実施日

調整により。幅の広い、「市民対象」というより、「地域対象」の行事であるため、日程に関しては相手合わせ・自治会合わせの要素が大きい。そのため、変動する可能性も存在する。

(5)実施場所

調整中

(6)広報・募集方法

調整により

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

調整により

(8)必要支援内容

国土交通省 調整により

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

調整により

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

現在、かわみ等の活動により、地域の課題や地域住民や行政が忘却した、または気が付いていない地域資源の発見を行っている。また、それとともに、地域住民の方々と出会っている。そのため、かわみの活動に気がついた地域から、さまざまな行事要請が来ており、昨年度は河川レンジャー活動のみならず他団体の活動としても数多くの活動を実施することとなった。今後、活動を調整し、より発展させたい。

また、レンジャーの講演内容や技量についての理解が課題である。そのほか、非常に忙しく、河川やまちづくり・流域連携・河川と自治の話など聞きたくない、勉強したくないという人も存在している。それらの方々に、短い期間の間に理解してもらうことは不可能だと思われるがその面も課題である。

(11)活動を行ううえでの課題等

行事要請量と現実の対応量の差。

(12)その他  
なし

## 7. 山崎(京都府域)出張所管内河川レンジャー 仁枝 洋

### 7.1 活動テーマと活動分野

山崎出張所(京都府域)管内を活動エリアとする仁枝レンジャーは以下の活動テーマのもと、8つの活動を実施します。

#### 活動テーマ

人と川・水と暮らしの関わりに学ぶ  
「見る・知る・考える」マイ・リバー・ウォーク

#### 平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
防災の推進を図る活動	水防工法に学ぶ防災体験 part1 in 横大路 皆さんと一緒にまずは土のう作り
	水防工法に学ぶ防災体験 part3 in 納所 皆さんと一緒にまずは土のう作り
河川管理を支援する活動	第4回桂川下流域クリーン大作戦 みんなの和・人の輪・虹の輪作戦
川の歴史・文化を普及・啓発する活動	川の旅「リバー・ウォーク桂川」 第4回春の桂川をハイキング
	私たちの川を見る・知る・考える マイ・リバー・ウォーク part1 in 羽束師
	私たちの川を見る・知る・考える マイ・リバー・ウォーク part2 in 淀
	私たちの川を見る・知る・考える マイ・リバー・ウォーク part4 in 横大路
	私たちの川を見る・知る・考える マイ・リバー・ウォーク part5 in 納所

## 7.2 水防工法に学ぶ防災体験 part1 in 横大路

### 備えあれば憂いなし・皆さんと一緒に先ずは土のう作り

#### (1)活動目的

災害は忘れた頃にやってくる・・・とよく言われます。近年、桂川に隣接する当地域では水害になるような洪水は発生しておりません。

しかし、このような時こそ地域の皆さんと一諸に水害の恐ろしさを知り、防災について考え、災害に備えることを学び、体験する機会として、今回「水防工法に学ぶ防災体験」- 備えあれば憂いなし・皆さんと一緒に先ずは土のう作り - をテーマに上流や下流の地域を繋ぎ、交流を広げながら活動を行い、自分たちの町を自分たちで守る災害知識を学びます。

今回は横大路において活動を実施します。(昨年度、地元の都合で開催できませんでした)

この活動を通して、地域の皆さんの防災意識の高揚に繋がることを期待しています。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		打合せ、実施計画、広報活動、 現地調査、スタッフ会議、 準備品確認、支援品申請
	5 月	水防工法に学ぶ防災体験 part1 in 横大路	広報活動、申込×切、 アンケート作成、配布資料作成、 雨天対応、支援品返却
	6 月		アンケートの取りまとめ
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

日時については、自治会等の行事予定が未定のため表示していません。

(2)参加対象者・定員

参加対象者 地域の皆さん他 (中学生以下保護者同伴可)

定 員 50 名(安全管理及び活動スペース等考慮)

そ の 他 参加者が少なくても実施します。



(6) 広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。

伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。

淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。

広報・募集方法は以下の通りです。

- ・自治会からの回覧版による募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小、中学校・高校、企業等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(回覧、掲示、配布用募集チラシ)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ：・防災エキスパート 裕永正光 (水害と水防のお話し)
- ・横大路水防団 3名(水防工法指導)
  - ・淀納所桂川愛護会 2名(活動補助)

(8) 必要支援内容

国土交通省: 広報募集のコピー印刷等

- ・ポスター(A3版、カラー印刷、ラミネート処理) 掲示用
- ・チラシ(B4版、カラー印刷) 回覧板回覧用
- ・チラシ(A4版、カラー印刷) 配布用

: 土のう作り

- ・土(まさ土) ・土のう袋 ・軍手

: テキスト等コピー印刷

- ・水防工法説明資料(A4) ・アンケート用紙(A4)

: その他

- ・河川レンジャーのぼり、横断幕
- ・救急箱
- ・クリーンアップ用具(火バサミ、手袋、ゴミ袋)

横大路水防団

- ・スコップ、掛矢、たこつち、一輪車等の水防器具
- ・道具一式借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・活動基本計画企画立案
- ・出張所との打合せ・連絡・報告等
- ・実施計画作成(現地調査含)
- ・協力団体・関係団体との連絡及び調整
- ・募集ポスター・チラシ並びに活動日資料の立案、作成
- ・募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)
- ・協力スタッフ・会場等の手配及び打合せ(会場レイアウト含)
- ・用具等準備品リストと支援品申請(まさ土、土のう袋含)
- ・土、資材の雨対策
- ・活動実施最終チェック
- ・当日の運営(会場設営・活動進行・会場撤収等)
- ・支援品の返却
- ・アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10) 昨年の活動報告を踏まえての改善点

(11) 活動を行なううえでの課題

(12) その他

### 7.3 水防工法に学ぶ防災体験 part3 in 納所

#### 備えあれば憂いなし・皆さんと一緒に先ずは土のう作り

##### (1)活動目的

災害は忘れた頃にやってくる・・・とよく言われます。近年、桂川に隣接する当地域では水害になるような洪水は発生しておりません。

しかし、このような時こそ地域の皆さんと一緒に水害の恐ろしさを知り、防災について考え、災害に備えることを学び、体験する機会として、今回「水防工法に学ぶ防災体験」- 備えあれば憂いなし・皆さんと一緒に先ずは土のう作り - をテーマに上流や下流の地域を繋ぎ、交流を広げながら活動を行い、自分たちの町を自分たちで守る災害知識を学びます。

納所において、昨年に引き続き活動を実施します。

この活動を通して、地域の皆さんの防災意識の高揚に繋がることを期待しています。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		打合せ、実施計画、 広報活動、現地調査 スタッフ会議、準備品確認、 支援品申請
	5 月	水防工法に学ぶ防災体験 Part3 in 納所	広報活動、申込〆切日、 アンケート作成、 配布資料作成、雨天対応、 支援品返却
	6 月		アンケートの取りまとめ
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

日時については、自治会等の行事予定が未定のため表示していません。

(2)参加対象者・定員

参加対象者 地域の皆さん (中学生以下保護者同伴可)

定 員 50 名(安全管理及び活動スペース等考慮)

そ の 他 参加者が少なくても実施します。

### (3)実施内容

土のう作りと月の輪工

(堤防裏法面側の漏水口の拡大を防ぎ堤防の決壊を防ぐ)作業

当日の実施工程

- 9:00～ 9:30 会場設営、準備(五番排水樋門 100m上流高水敷)
- 9:30～ 9:45 現地受付開始(「河川レンジャーのぼり」目印)
- 9:45～ 10:00 現地集合・開会式
- 10:00～ 10:15 水害と水防のお話し
- 10:15～ 11:15 土のう作りと杭打積土のう工作業を実施
- 11:15～ 11:25 休憩
- 11:25～ 11:50 水防団によるシート張り工作業見学
- 11:50～ 12:00 アンケート記入・提出
- 12:00 閉会
- 14:00～ 17:00 現地後片付け

### (4)実施日

未定

当日雨天の場合は順延し、開催中止はしません。

### (5)実施場所

五番排水樋門 100m上流高水敷(旧ゲートボール場)



#### (6) 広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。

伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。

淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。

広報・募集方法は以下の通りです。

- ・自治会からの回覧版による募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小、中学校・高校、企業等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(回覧、掲示、配布用募集チラシ)

#### (7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ： ・防災エキスパート 裕永正光(水害と水防のお話し)  
・納所・向島水防団 3名(水防工法指導)  
・淀納所桂川愛護会 2名(活動補助)

#### (8) 必要支援内容

国土交通省: 広報募集のコピー印刷等

- ・ポスター(A3版、カラー印刷、ラミネート処理) 掲示用
- ・チラシ(B4版、カラー印刷) 回覧板回覧用
- ・チラシ(A4版、カラー印刷) 配布用

: 土のう作り

- ・土(まさ土) ・土のう袋 ・軍手

: テキスト等コピー印刷

- ・水防工法説明資料(A4) ・アンケート用紙(A4)

: その他

- ・河川レンジャーのぼり、横断幕
- ・救急箱
- ・クリアアップ用具(火バサミ、手袋、ゴミ袋)

納所・向島水防団

- ・スコップ、掛矢、たこつち、一輪車等の水防器具
- ・道具一式借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・活動基本計画企画立案
- ・出張所との打合せ・連絡・報告等
- ・実施計画作成(現地調査含)
- ・協力団体・関係団体との連絡及び調整
- ・募集ポスター・チラシ並びに活動日資料の立案、作成
- ・募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)
- ・協力スタッフ・会場等の手配及び打合せ(会場レイアウト含)
- ・用具、準備品リストと支援品申請(まさ土、土のう袋含)
- ・土、資材の雨対策
- ・活動実施最終チェック
- ・当日の運営(会場設営・活動進行・会場撤収等)
- ・支援品の返却
- ・アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・家族参加や学生、若者や特に中高年の参加の呼びかけ。

(11)活動を行なううえでの課題等

- ・日かげ等多目的に利用できる簡易テントの設置
- ・作業上の安全管理
- ・トイレ(活動場所周辺に公共トイレがない)

(12)その他

## 7.4 第4回桂川下流域クリーン大作戦 人の和・虹の輪・みんなの輪

### (1)活動目的

第4回桂川クリーン大作戦が嵐山渡月橋から三川合流付近までの区間で開催されるに当たり、桂川出張所管内の田子レンジャーと連携して、年1回一斉清掃を行い「ゴミの持ち帰り運動」へと発展させて、桂川をきれいにしたいという皆さんと一緒に清掃作業を行い「綺麗な桂川」を守り育てることを目的に開催します。

この活動を通して、「自然豊かな・素晴らしい桂川」を次の世代へ引き継いでいくために、桂川流域の上流から下流、支川から本川にいたる多くの住民や自治会、学校、各団体、企業等に参加を呼びかけながら、この活動が「ひとの和・虹の輪・みんなの輪」で年1回の桂川一斉清掃作業として継続し、定着しいていくことを期待しています。

### 平成22年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月		定例会議・事務局会議・広報準備
	5月		定例会議・広報活動
	6月		定例会議・広報活動
	7月		定例会議・事務局会議、広報活動 実施要項作成
	8月		定例会議・広報活動 スタッフ現地調査及び打合せ
	9月		定例会議、広報活動 実施計画の立案・用具の確認
	10月		定例会議・事務局会議、広報活動 用具の手配
	11月		現地説明会・広報活動(マスコミ対 策含)、用具の手配
	12月		定例会議、広報活動・参加仮切 合同説明会実施、スタッフ会議
平成 23 年	1月		定例会議、事務局会議、広報活動、 現地説明会、スタッフ会議
	2月	第4回桂川下流域クリーン大 作戦	定例会議、現地説明会・参加仮切 スタッフ会議、活動実施月
	3月		定例会議、事務局会議、反省会 活動とりまとめ

(2)参加対象者・定員

参加対象者:地域の皆さん(中学生以下は保護者同伴可)

定 員:500人(安全管理考慮) 流域全体で3000人規模を目標

(3)実施内容

桂川下流域クリーン大作戦

清掃活動は清掃範囲(区域)ごとに現地集合、ゴミの集積、現地解散で実施

当日の実施工程

8:00 スタッフ集合

8:30 受付開始(「河川レンジャーのぼり」目印)

9:00 集合 河川レンジャー挨拶、注意事項等

9:30 清掃開始

10:30 休憩

10:45 清掃再会、ゴミ集積

11:30 清掃終了・アンケート・解散

15:00 各清掃地点の用具等の返却、数量確認、申し送り、報告後、解散

(4)実施日

平成23年2月13日(日)雨天の場合は2月20日(日)に順延します。

2月20日も雨の場合は清掃活動を中止します。

(5)実施場所

羽束師橋～三川合流付近(清掃可能な場所とする)



(6) 広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。

京都市伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。

淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。

広報・募集方法は以下の通りです。

- ・各自治会からの回覧版による戸別募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小、中学校・高校、企業等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(回覧、掲示、配布用募集チラシ)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ: 淀納所桂川愛護会 7名(活動補助)

: 乙訓桂川愛護会 3名(活動補助)

(8) 必要支援内容

国土交通省: 募集案内と資料の印刷

: 必要用具(火バサミ、手袋、ゴミ袋)の借用等

: ゴミ回収者の手配

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

活動基本計画企画立案  
出張所との打合せ・連絡・報告等  
実施計画作成(現地調査含)  
協力団体・関係団体との連絡及び調整  
募集ポスター・チラシ並びに実施要項等資料の立案、作成  
募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)  
協力スタッフの手配及び打合せ  
スタッフおよび各団体責任者等の清掃地区現地説明会  
支援品申請(準備品リスト)  
活動実施最終チェック  
当日の運営(活動進行等)  
支援品の返却  
アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・地域で清掃活動をしている個人や団体を把握して繋がりを作るようにしたい。
- ・地域の自治会(各種団体含)や学校、企業等の参加を呼びかけたい。

(11)活動を行ううえでの課題等

- ・活動を展開するうえでの現地人材の把握と育成。
- ・清掃用具の持参参加呼びかけと清掃用具のない参加者への用具の調達を考える。
- ・トイレ(活動周辺にトイレがない)。

(12)その他

## 7.5 川の旅「リバー・ウォーク桂川」

### - 第4回 春の桂川をハイキング -

#### (1)活動目的

桂川を見て、知って、楽しんで、考える川の旅「リバー・ウォーク桂川」、第4回目は宮前橋から水無瀬川付近までのリバー・ウォーク(ハイキング)を行ないます。それぞれの地域における川の歴史や文化の変遷などにふれ、景観や自然のいきものたちと出会いながらの「川歩き」を楽しみます。

この活動を通して、桂川大好きファンが増えることを期待しています。

#### 平成22年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月	川の旅「リバー・ウォーク桂川」 第4回春の桂川をハイキング	打合せ、実施計画、広報活動、 現地調査、スタッフ会議、 準備品確認、支援品申請 広報活動、申込〆切、 アンケート作成、 配布資料作成、雨天対応、 支援品返却
	5月		アンケートのとりまとめ
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 23 年	1月		
	2月		
	3月		

日時については、自治会等の行事予定が未定のため表示していません。

(2)参加対象者・定員

参加対象者 地域の皆さん(中学生以下保護者同伴可)  
定 員 50名(安全管理等を考慮)

(3)実施内容

実施区間

宮前橋 大下津町 淀川河川公園 大山崎町河川公園 宮前橋

集合場所

宮前橋下(元納所六番町ちびっ子広場)

当日の実施工程

9:30~ 9:45 受付

9:45~ 10:00 開会

10:00~ 15:00 リバー・ウォーク(ハイキング)

( 宮前橋 大下津町 淀川河川公園 大山崎町河川公園 宮前橋)

15:00 アンケート提出後解散

(4)実施日

未定

当日雨天の場合は順延し、開催中止はしません。

(5)実施場所

宮前橋 大下津町 淀川河川公園 大山崎町河川公園 宮前橋



(6) 広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。  
京都市伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。  
淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。  
広報・募集方法は以下の通りです。

- ・各自治会からの回覧による募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小、中学校・高校、企業等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(回覧、掲示、配布用募集チラシ)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ:淀納所桂川愛護会 5名(活動補助)

(8) 必要支援内容

国土交通省:広報募集のコピー印刷等

- ・ポスター(A3版、カラー印刷、ラミネート処理)掲示用
- ・チラシ(B4版、カラー印刷)回覧板回覧用
- ・チラシ(A4版、カラー印刷)配布用

:配布資料のコピー

- ・スケジュール表(A4)
- ・アンケート用紙(A4)
- ・コース図(A3)

:その他

- ・河川レンジャーのぼり
- ・クリーンアップ用具(火バサミ、手袋、ゴミ袋)

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

活動基本計画企画立案  
出張所との打合せ・連絡・報告等  
実施計画作成(現地調査含)  
協力団体・関係団体との連絡及び調整  
募集ポスター・チラシ等資料の立案、作成  
募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)  
協力スタッフ等の手配及び打合せ  
順備品リストと支援品申請  
活動実施最終チェック  
当日の運営(活動進行)  
支援品の返却  
アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

・各地域の川の歴史や文化の変遷、生きものに詳しいガイドを配置する。  
(河川レンジャー・出前講座・地元の協力が必要)

(11)活動を行なううえでの課題

・サイクリングロードの共用による参加者の安全管理

(12)その他

## 7.6 私たちの川を見る・知る・考える「マイ・リバー・ウォーク」 part1 in 羽束師

### (1)活動目的

人と川・水と暮らしの関わりを通して身近にある私たちの川が、地域にとって大切な水と暮らしの関係について、現在どのような状況にあるのかを地域の皆さんと一緒に川辺を歩き、実感することを目的に「マイ・リバー・ウォーク」を開催します。

川の現状を実感しながら「水のきれいな川」「美しい景色とところ安らぐ川」「たくさんの生きものがすむ川」「ゴミのない川」「これからの川づくり」などについて、地域の皆さんと一緒に考えるきっかけづくりなればと上流や下流の地域を繋ぎ、交流を広げながら活動を行なっています。

今回は新たに羽束師地域において「見て、知る」活動を実施します。

この活動は私たちの川を「見る・知る・考える」を通して、川の素晴らしさを知り、守り、育て、次の世代へと引き継いでいくためにも、一人でも多くの桂川ファンとさまざまな川の愛護グループが誕生することを期待しています。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		計画準備・実施計画作成・打合せ スタッフ会議・現地調査・広報準備
	8 月		広報活動・語りべ依頼 スタッフ会議 準備品確認、支援品申請、会場手配
	9 月		広報活動、展示品確認、 事務用品確認、アンケート、 感想発表会用品、申込締切
	10 月	マイ・リバー・ウォーク part1 in 羽束師	展示品、事務用品、 感想発表会用品最終確認 雨天対応・支援品、借用品返却
	11 月		アンケートの取りまとめ・活動のま とめ、並びに活動報告
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

日時については、自治会の行事予定が未定のため表示していません。

(2)参加対象者・定員

参加対象者 地域の皆さん他 (中学生以下保護者同伴可)

定 員 50 名 (収容能力等を考慮)

そ の 他 参加者が少なくても実施します。

### (3)実施内容

語り「羽束師の今むかし」(地元の「語りべ」による)

マイ・リバー・ウォーク「私たちの川を見る・知る・考える」思い付きメモ(参加者)

感想発表会「マイ・リバー・ウォークマップの作成」(参加者)

パネル・資料の展示会

(周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc)

当日の実施工程

9:00～10:00 スタッフ集合・会場設営・受付設営作業

10:00～10:45 羽束師ふれあいサロン集合受付開始  
(「河川レンジャーのぼり」目印)

10:45～11:00 開会

11:00～12:00 語り「羽束師の今むかし」  
(地元在住の古老による)

12:00～13:15 休憩 昼食持参 参加者交流会

13:15～15:15 マイ・リバー・ウォーク

・羽束師ふれあいサロン 西羽束師川 西羽束師樋門 桂川  
羽束師ふれあいサロン

15:15～16:15 感想発表会(羽束師ふれあいサロン)  
・マイ・リバー・ウォークマップの作成  
(post-it ノートを貼る)  
・アンケート記入、提出

16:30 閉会

16:30～17:00 会場撤収作業

17:00 解散

10:00～16:30 パネルや資料の展示会同時開催

・周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc

### (4)実施日

未定

当日雨天の場合は順延し、開催中止はしません。

## (5) 実施場所

実施場所：羽東師ふれあいサロン

(開会式、語り、感想発表、パネル展示など)

：コース(羽東師ふれあいサロン 西羽東師川 西羽東師樋門 桂川  
羽東師ふれあいサロン)

設定理由：羽東師ふれあいサロンは地域の皆さんがよく利用するサロ  
ンで集まりやすいと考えました。

：リバー・ウォークコースは地域に関わりをもつ区間と考えました。



## (6) 広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。

伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。

淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。

広報・募集方法は以下の通りです。

- ・各自治会からの回覧版による戸別募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小、中学校・高校、企業等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集  
(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(回覧、掲示、配布用募集チラシ)

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ:淀納所桂川愛護会 5名(活動補助)

(8)必要支援内容

国土交通省:広報募集のコピー印刷等

・ポスター

(A3版、カラーコピー印刷、ラミネート処理)掲示用

・チラシ(B4版、カラーコピー印刷)回覧板回覧用

・チラシ(A4版、カラーコピー印刷)配布用

:参加者配布資料コピー印刷等

・語り「淀の今むかし」資料(A4版、一部カラー有)

・当日のスケジュール表、思い付きメモ、アンケート用紙

・ウォークコース図

(リバー・ウォーク用A4版、マップ作成用A0版)

:事務用品等の提供(貸与返却用品)

・POST-it ノート(75mm×75mm/1冊100枚綴

イエロー・ピンク・ブルー・グリーン4色)

・シャーペン、サインペン、マジックインキ、押ピン、  
マグネット、リップノリ

:資料等の提供

・河川古図・三川合流付近河川変資料・台風災害資料等  
(展示用資料)

・河川不法投棄・河川利用・河川敷利用・淀川ゴミゼロ資  
料等(配布用)

:その他

・河川レンジャーのぼり・河川レンジャー横断幕

・クリーンアップ用具(火バサミ、手袋、ゴミ袋)

・会場使用料の支給

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

活動基本計画企画立案

出張所との打合せ・連絡・報告等

実施計画作成(現地調査含)

協力団体・関係団体との連絡及び調整

募集ポスター・チラシ並びに活動日資料の立案、作成

募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)

地元古老・協力スタッフ・会場等の手配及び打合せ(会場レイアウト含)

支援品申請

活動実施最終チェック

当日の運営(会場設営・活動進行・会場撤収等)

支援品の返却

アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10)昨年度の活動をふまえての改善点

(11)活動を行ううえでの課題等

(12)その他

## 7.7 私たちの川を見る・知る・考える「マイ・リバー・ウォーク」 part2 in 淀

### (1)活動目的

人と川・水と暮らしの関わりを通して身近にある私たちの川が、地域にとって大切な水と暮らしの関係について、現在どのような状況にあるのかを地域の皆さんと一緒に川辺を歩き、実感することを目的に「マイ・リバー・ウォーク」を開催します。

川の現状を実感しながら「水のきれいな川」「美しい景色とところ安らぐ川」「たくさんの生きものがすむ川」「ゴミのない川」「これからの川づくり」などについて、地域の皆さんと一緒に考えるきっかけづくりなればと上流や下流の地域を繋ぎ、交流を広げながら活動を行なっています。

昨年に引き続き「見て、知る」活動を実施します。

この活動は私たちの川を「見る・知る・考える」を通して、川の素晴らしさを知り、守り、育て、次の世代へと引き継いでいくためにも、一人でも多くの桂川ファンとさまざまな川の愛護グループが誕生することを期待しています。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		計画準備・実施計画作成・打合せ スタッフ会議・現地調査・広報準備
	8 月		広報活動・語りべ依頼 スタッフ会議、準備品確認、 支援品申請・会場手配
	9 月		広報活動、展示品確認、 事務用品確認、アンケート、 感想発表会用品、申込締切
	10 月	マイ・リバー・ウォーク part2 in 淀	展示品、事務用品、 感想発表会用品最終確認 雨天対応・支援品、借用品返却
	11 月		アンケートの取りまとめ 活動のまとめ並びに活動報告
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

日時については、自治会の行事予定が未定のため表示していません。

(2)参加対象者・定員

参加対象者 地域の皆さん他 (中学生以下保護者同伴可)

定 員 50 名 (収容能力等を考慮)

そ の 他 参加者が少なくても実施します。

### (3)実施内容

語り「淀の今むかし」(地元の「語りべ」による)

マイ・リバー・ウォーク「私たちの川を見る・知る・考える」

思い付きメモ(参加者)

感想発表会「マイ・リバー・ウォークマップの作成」(参加者)

パネル・資料の展示会

(周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc)

当日の実施工程

9:00～10:00	スタッフ集合・会場設営・受付設営作業
10:00～10:45	淀会館集合受付開始 (「河川レンジャーのぼり」目印)
10:45～11:00	開会
11:00～12:00	語り「淀の今むかし」(地元在住の古老による)
12:00～13:15	休憩 昼食持参 参加者交流会
13:15～15:15	マイ・リバー・ウォーク ・淀会館 宇治川 淀水路 桂川 淀城 淀会館
15:15～16:15	感想発表会(淀会館) ・マイ・リバー・ウォークマップの作成 (post-it ノートを貼る) ・アンケート記入、提出
16:30	閉会
16:30～17:00	会場撤収作業
17:00	解散
10:00～16:30	パネルや資料の展示会同時開催 ・周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc

### (4)実施日

未定

当日雨天の場合は順延し、開催中止はしません。

## (5)実施場所

実施場所:淀会館(開会式、語り、感想発表、パネル展示など)

:コース(淀会館 宇治川 淀水路 桂川 淀城跡 淀会館)

設定理由:淀会館は地域の皆さんがよく利用する会館なので集まりやすいと考えました。

:リバー・ウォークコースは地域に関わりをもつ区間と考えました。



## (6)広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。

伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。

淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。

広報・募集方法は以下の通りです。

- ・各自治会からの回覧版による戸別募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小・中学校・高校、企業等への掲示募集(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(回覧、掲示、配布用募集チラシ)

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ:淀納所桂川愛護会 5名(活動補助)

(8)必要支援内容

国土交通省:広報募集のコピー印刷等

・ポスター

(A3版、カラーコピー印刷、ラミネート処理)掲示用

・チラシ(B4版、カラーコピー印刷)回覧板回覧用

・チラシ(A4版、カラーコピー印刷)配布用

:参加者配布資料コピー印刷等

・語り「淀の今むかし」資料(A4版、一部カラー有)

・当日のスケジュール表、思い付きメモ、アンケート用紙

・ウォークコース図

(リバー・ウォーク用A4版、マップ作成用A0版)

:事務用品等の提供(貸与返却用品)

・POST-it ノート

(75mm×75mm/1冊100枚綴)

イエロー・ピンク・ブルー・グリーン4色)

・シャープペン、サインペン、マジックインキ、押ピン、  
マグネット、リップノリ

:資料等の提供

・河川古図・三川合流付近河川変資料・台風災害資料等  
(展示用資料)

・河川不法投棄・河川利用・河川敷利用  
淀川ゴミゼロ資料等(配布用)

:その他

・河川レンジャーのぼり・河川レンジャー横断幕

・クリーンアップ用具(火バサミ、手袋、ゴミ袋)

・会場使用料の支給

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

活動基本計画企画立案

出張所との打合せ・連絡・報告等

実施計画作成(現地調査含)

協力団体・関係団体との連絡及び調整

募集ポスター・チラシ並びに活動日資料の立案、作成

募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)

地元古老・協力スタッフ・会場等の手配及び打合せ(会場レイアウト含)

支援品申請

活動実施最終チェック

当日の運営(会場設営・活動進行・会場撤収等)

支援品の返却

アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10)昨年度の活動をふまえての改善点

(11)活動を行ううえでの課題等

(12)その他

## 7.8 私たちの川を見る・知る・考える「マイ・リバー・ウォーク」 part4 in 横大路

### (1)活動目的

人と川・水と暮らしの関わりを通して身近にある私たちの川が、地域にとって大切な水と暮らしの関係について、現在どのような状況にあるのかを地域の皆さんと一緒に川辺を歩き、実感することを目的に「マイ・リバー・ウォーク」を開催します。

川の現状を実感しながら「水のきれいな川」「美しい景色とところ安らく川」「たくさんの生きものがすむ川」「ゴミのない川」「これからの川づくり」などについて、地域の皆さんと一緒に考えるきっかけづくりなればと上流や下流の地域を繋ぎ、交流を広げながら活動を行なっています。

昨年に引き続き「知って、考える」活動を実施します。

この活動は私たちの川を「見る・知る・考える」を通して、川の素晴らしさを知り、守り、育て、次の世代へと引き継いでいくためにも、一人でも多くの桂川ファンとさまざまな川の愛護グループが誕生することを期待しています。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		計画準備・実施計画作成・打合せ スタッフ会議・現地調査 広報準備
	8 月		広報活動・語りべ依頼 スタッフ会議、準備品確認、 支援品申請・会場手配
	9 月		広報活動、展示品確認、 事務用品確認、アンケート、 感想発表会用品、申込締切
	10 月	マイ・リバー・ウォーク part4 in 横大路	展示品、事務用品、 感想発表会用品最終確認 雨天対応・支援品、借用品返却
	11 月		アンケートの取りまとめ 活動のまとめ並びに活動報告
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

日時については、自治会等の行事予定が未定のため表示していません。

(2)参加対象者・定員

参加対象者 地域の皆さん他 (中学生以下保護者同伴可)

定 員 50 名 (収容能力等を考慮)

そ の 他 参加者が少なくても実施します。

### (3)実施内容

語り「横大路の今むかし」(地元の「語りべ」による)

マイ・リバー・ウォーク「私たちの川を見る・知る・考える」

思い付きメモ(参加者)

感想発表会「マイ・リバー・ウォークマップの作成」(参加者)

パネル・資料の展示会

(周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc)

当日の実施工程

9:00～10:00 スタッフ集合・会場設営・受付設営作業

10:00～10:45 淀会館集合受付開始

10:45～11:00 開会

11:00～12:00 語り「横大路の今むかし」

(地元在住の古老による)

12:00～13:15 休憩 昼食持参 参加者交流会

13:15～15:15 マイ・リバー・ウォーク

・横大路会館 羽束師橋上流鴨川合流部付近 (横大路東裏町)

横大路富ノ森町 府道京都守口線 横大路会館

15:15～16:15 感想発表会(横大路会館)

・マイ・リバー・ウォークマップの作成

(post-it ノートを貼る)

・アンケート記入、提出

16:30 閉会

16:30～17:00 会場撤収作業

17:00 解散

10:00～16:30 パネルや資料の展示会同時開催

・周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc

### (4)実施日

未定

当日雨天の場合は順延し、開催中止はしません。

## (5) 実施場所

実施場所：横大路会館(開会式、語り、感想発表、パネル展示など)

コース(横大路会館 羽束師橋 横大路富ノ森町 府道京線 横大路会館)

設定理由：横大路会館は地域の皆さんがよく利用する会館なので集まりやすいと考えました。

リバー・ウォークコースは地域に関わりをもつ区間と考えました。



## (6) 広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。

伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。

淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。

広報・募集方法は以下の通りです。

- ・各自治会からの回覧版による戸別募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小、中学校・高校、企業等への掲示募集(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(回覧、掲示、配布用募集チラシ)

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ:淀納所桂川愛護会 5名(運営補助)

(8)必要支援内容

国土交通省:広報募集のコピー印刷等

・ポスター

(A3版、カラーコピー印刷、ラミネート処理)掲示用

・チラシ(B4版、カラーコピー印刷)回覧板回覧用

・チラシ(A4版、カラーコピー印刷)配布用

:参加者配布資料コピー印刷等

・語り「横大路の今むかし」資料(A4版、一部カラー有)

・当日のスケジュール表、思い付きメモ、アンケート用紙

・ウォークコース図

(リバー・ウォーク用A4版、マップ作成用A2版)

:事務用品等の提供(貸与返却用品)

・POST-itノート

(75mm×75mm/1冊100枚綴)

イエロー・ピンク・ブルー・グリーン4色)

・シャープペン、サインペン、マジックインキ、

押ピン、マグネット、リップノリ

:資料等の提供

・河川古図・三川合流付近河川変資料

台風災害資料等(展示用資料)

・河川不法投棄・河川利用

河川敷利用・淀川ゴミゼロ資料等(配布用)

:その他

・河川レンジャーのぼり・河川レンジャー横断幕

・クリーンアップ用具(火バサミ、手袋、ゴミ袋)

・会場使用料の支給

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

活動基本計画企画立案  
出張所との打合せ・連絡・報告等  
実施計画作成(現地調査含)  
協力団体・関係団体との連絡及び調整  
募集ポスター・チラシ並びに活動日資料の立案、作成  
募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)  
地元古老・協力スタッフ・会場等の手配及び打合せ(会場レイアウト含)  
支援品申請  
活動実施最終チェック  
当日の運営(会場設営・活動進行・会場撤収等)  
支援品の返却  
アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10)昨年度の活動をふまえての改善点

- ・参加者の年齢層では、若者や中高年、家族の参加が少ない。  
幅広い年齢層の参加を得るための活動の内容や広報方法の改善が必要である。  
当面、活動を近隣地域へ広げていきたいと考えています。

(11)活動を行ううえでの課題等

- ・地域の方の川への関わりの方向性。  
・地域の川に関わりのある愛護団体の誕生が望まれる。

(12)その他

## 7.9 私たちの川を見る・知る・考える「マイ・リバー・ウォーク」 part5in 納所

### (1)活動目的

人と川・水と暮らしの関わりを通して身近にある私たちの川が、地域にとって大切な水と暮らしの関係について、現在どのような状況にあるのかを地域の皆さんと一緒に川辺を歩き、実感することを目的に「マイ・リバー・ウォーク」を開催します。

川の現状を実感しながら「水のきれいな川」「美しい景色とところ安らく川」「たくさんの生きものがすむ川」「ゴミのない川」「これからの川づくり」などについて、地域の皆さんと一緒に考えるきっかけづくりなればと上流や下流の地域を繋ぎ、交流を広げながら活動を行なっています。

今年度は part1～part5 までを取りまとめ、参加した皆さんと一緒にマイ・リバー・ウォークのマップの作成を行います。

この活動は私たちの川を「見る・知る・考える」を通して、川の素晴らしさを知り、守り、育て、次の世代へと引き継いでいくためにも、一人でも多くの桂川ファンとさまざまな川の愛護グループが誕生することを期待しています。

平成 22 度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		計画準備・実施計画作成・打合せ スタッフ会議・現地調査 広報準備
	9 月		広報活動・語りべ依頼 スタッフ会議、準備品確認、 支援品申請・会場手配
	10 月		広報活動、展示品確認、 事務用品確認、アンケート、 感想発表会用品、申込締切
	11 月	マイ・リバー・ウォーク part5 in 納所	展示品、事務用品、 感想発表会用品最終確認 雨天対応・支援品、借用品返却
	12 月		アンケートの取りまとめ マイ・リバー・ウォークマップ作成
平成 23 年	1 月		マイ・リバー・ウォークマップ作成
	2 月		マイ・リバー・ウォークマップ作成
	3 月		活動のまとめ並びに活動報告

日時については、自治会の行事予定が未定のため表示していません。

(2)参加対象者・定員

参加対象者 地域の皆さん他（中学生以下保護者同伴可）  
 定 員 50 名（収容能力等を考慮して設定しました）  
 そ の 他 参加者が少なくても実施します。

### (3)実施内容

- 語り「納所の今むかし」(地元の「語りべ」による)  
マイ・リバー・ウォーク「私たちの川を見る・知る・考える」  
思い付きメモ(参加者)
- 感想発表会「マイ・リバー・ウォークマップの作成」(参加者)
- パネル・資料の展示会  
(周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc)
- 当日の実施工程
- |             |   |
|-------------|---|
| 9:00～10:00  | スタッフ集合・会場設営・受付設営作業  |
| 10:00～10:45 | 納所会館集合受付開始  |
| 10:45～11:00 | 開会  |
| 11:00～12:00 | 語り「納所の今むかし」(地元在住の古老による)   |
| 12:00～13:15 | 休憩 昼食持参 参加者交流会  |
| 13:15～15:15 | マイ・リバー・ウォーク<br>・納所会館 千本通 宮前橋 水辺親水域 納所岸ノ下<br>洛南承水路 納所町下野 納所川 納所会館          |
| 15:15～16:15 | 感想発表会(於納所会館)<br>・マイ・リバー・ウォークマップの作成<br>(A0版・post-it ノートを貼る)<br>・アンケート記入、提出 |
| 16:30       | 閉会  |
| 16:30～17:00 | 会場撤収作業  |
| 17:00       | 解散  |
| 10:00～16:30 | パネルや資料の展示会同時開催<br>・周辺地域の川の変遷、淀川流域災害資料、河川利用等のパネル etc                       |

### (4)実施日

未定

当日雨天の場合は順延し、開催中止はしません。

## (5)実施場所

実施場所:納所会館(開会式、語り、感想発表、パネル展示など)

:コース

(納所会館 宮前橋 納所岸ノ下町 納所下野町 納所会館)

設定理由:納所会館は地域の皆さんがよく利用する会館なので集まりやすいと考えました。

:リバー・ウォークコースは地域に関わりをもつ区間と考えました。



## (6)広報・募集方法

広報・募集方法は自治会を通じたの広報・募集とします。

伏見区まちづくり情報掲示板に掲載します。

淀川管内河川レンジャーのホームページに掲載します。

広報・募集方法は以下の通りです。

- ・各自治会からの回覧版による戸別募集(回覧用募集チラシ)
- ・自治会各種団体への募集(配布用募集チラシ)
- ・自治会各掲示板への掲示募集(掲示用募集ポスター)
- ・地域の小、中学校・高校や企業等への掲示募集(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・地域の公共施設等への掲示募集(掲示用募集ポスター及び募集チラシ)
- ・自治会報等地域情報紙への掲載募集
- ・近隣自治会住民への募集(配布用募集チラシ)

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ:淀納所桂川愛護会 5名(運営補助)

(8)必要支援内容

国土交通省:広報募集の印刷等

- ・ポスター(A3版、カラー印刷、ラミネート処理)掲示用
- ・チラシ(B4版、カラー印刷)回覧板回覧用
- ・チラシ(A4版、カラー印刷)配布用
- :参加者配布資料印刷等
- ・語り「納所の今むかし」資料(A4版、一部カラー有)
- ・当日のスケジュール表、思い付きメモ、アンケート用紙
- ・ウォークコース図  
(リバー・ウォーク用A4版、マップ作成用A2版)
- :事務用品等の提供(貸与返却用品)
- ・POST-it ノート  
(75mm×75mm/1冊100枚綴  
イエロー・ピンク・ブルー・グリーン4色)
- ・シャーペン、サインペン、マジックインキ、  
押ピン、マグネット、リップノリ
- :資料等の提供
- ・河川古図・三川合流付近河川変資料・台風災害資料等  
(展示用資料)
- ・河川不法投棄・河川利用・河川敷利用・淀川ゴミゼロ資  
料等(配布用)
- :その他
- ・河川レンジャーの旗・横断幕
- ・クリーンアップ用清掃用品(火バサミ、軍手、ゴミ袋)
- ・会場使用料の支給
- ・リバー・ウォークマップ作成の支援。

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

活動基本計画企画立案  
出張所との打合せ・連絡・報告等  
実施計画作成(現地調査含)  
協力団体・関係団体との連絡及び調整  
募集ポスター・チラシ並びに活動日資料の立案、作成  
募集広報活動・申込受付対応(回覧及び配布後のフォローアップ)  
地元古老・協力スタッフ・会場等の手配及び打合せ(会場レイアウト含)  
支援品申請  
活動実施最終チェック  
当日の運営(会場設営・活動進行・会場撤収等)  
支援品の返却  
アンケート結果のまとめ及び関係資料のまとめ

(10)昨年度の活動をふまえての改善点

- ・参加者の年齢層では、若者や中高年、家族の参加が少ない。  
幅広い年齢層の参加を得るための活動の内容や広報方法の改善が必要である。
- 当面、活動を近隣地域へ広げていきたいと考えています。

(11)活動を行ううえでの課題等

- ・地域の方の川への関わりの方向性。
- ・地域の川に関わりのある愛護団体の誕生が望まれる。

(12)その他

- ・回を重ねるごとに、地域に河川レンジャーが認識されてきている。
- ・当地域の桂川河川敷に珍樹「カジノ木」を発見、この木は樹皮を和紙の原料にするため古くから栽培され、日本では平安時代から記録がある。七夕の時に葉の裏に文字を書いたという。  
この木を守り、育て、実際に和紙を採取する活動を実施したいと考えている。